

非小細胞肺癌（非扁平上皮癌）（進行・再発） 1st Line

Atezolizumab+Bev+PTX+CBDCA療法

コース目

患者ID: @PATIENTID

年齢: [AGENTAGE] 歳

患者氏名: @PATIENTNAME

性別: ATIENTSE

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_Dc	WEIGHT01_Dc	#VALUE!

アルコールアレルギー 必ず無しを確認し選択

投与スケジュール: 1コース 21日間

目標コース数: 4又は6コース施行後、Atezolizumab+Bevacizumabにて維持療法を行う

使用基準: class A

開始前に甲状腺機能の確認のため、乳腺甲状腺外科へコンサルテーションすること。

※ 投与中はVital singのチェック(Monitor装着を推奨)

※ Infusion reactionに要注意

重度のInfusion reaction (アライズン様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等)が発現することがある。2回目以降の投与時に初めて発現することもある。

※ 間質性肺疾患があらわれ、死亡に至った症例も報告されているので、初期症状(息切れ、呼吸困難、咳嗽、疲労等)の確認及び胸部X線検査の実施等、観察を十分に行うこと。また、異常が認められた場合には本剤の投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

※ 甲状腺機能障害に注意すること。甲状腺機能障害があらわれることがあるので、本剤の投与開始前及び投与期間中は定期的に甲状腺機能検査(TSH, 遊離T3, 遊離T4等の測定)を実施すること。本剤投与中に甲状腺機能障害が認められた場合は、適切な処置を行うこと

※ 肝炎ウイルス検査を行うこと

※ 咯血(2.5mL以上の鮮血の咯血)の既往のある患者には禁忌。

※ アテゾリズマブ適正使用ガイド及びベバシズマブ適正使用ガイドに準じて投与すること。

※ 原則、埋め込み式ポート挿入後1週間以上、腹部手術前後は6週間以上空けて投与。

《使用薬剤》

アテゾリズマブ: (アテゾリズマブ) 1200mg/20mL

カルボプラチン: (カルボプラチン) 150mg/15mL/V、450mg/45mL/V

パクリタキセル: (パクリタキセル) 30mg/5mL/V、100mg/16.7mL/V

ベバシズマブ: (ベバシズマブ) 100mg/4mL/V、400mg/16mL/V

投与量: Ccr実測値 or Ccr値を選択。CBDCA投与量はAUCより算出。

Ccr値 (mg/dl)	目標AUC(mg・min/ml)
	6.0

Calvertの計算式: 投与量(mg/body) = 目標AUC値 × (GFR+25) ※GFRはCcrを代用。

薬剤名	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)
アテゾリズマブ	1200 mg/body	1200 mg/body	
ベバシズマブ	15mg/kg	#VALUE!	
パクリタキセル	200mg/m ²	#VALUE!	
カルボプラチン	AUC 6mg・min/mL	#VALUE!	

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日: 1月1日 (火) Day1

- 0時00分 ① 生理食塩液 50mL
血管確保で速度適宜に点滴静注
- 0時15分 ② 生理食塩液 250mL + アテゾリズマブ mg 0.0mL
0.2µm or 0.22µmのフィルター一体型輸液セットを使用する
60分で点滴投与
(60分で忍容性が良好であれば30分に変更可)
- 1時15分 ③ 生理食塩液 50mL
フラッシュ
- 1時30分 ④ 生理食塩液 100mL + ベバシズマブ 0mg 0.0mL
90分で点滴静注
(初回は90分、2回目以降は60分・30分に変更可)
- 3時00分 ⑤ 生理食塩液 50mL
フラッシュ
- 3時15分 ⑥ 内服 レスタミンコーワ錠(10mg) 5錠 ⑥の点滴直前に内服
生理食塩液50mL + ガスター 1A + デキサート 16.5mg
15分で点滴静注
- 3時30分 ⑦ 生理食塩液 100mL + アロキシ 1V
30分で点滴静注
- 4時00分 ⑧ 生理食塩液 500mL + パクリタキセル 0mg 0.0mL
0.22µ以下のフィルター一体型輸液セットを使用する
3時間で点滴静注
- 7時00分 ⑨ 5%ブドウ糖液 250mL + カルボプラチン 0mg 0.0mL
60分で点滴静注
- 8時00分 ⑩ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

REFERENCE

M. A. Socinski, R. M. Jotte, F. Cappuzzo, et al: N Engl J Med 2018;378:2288-301
Atezolizumab for First-Line Treatment of Metastatic Nonsquamous NSCLC
2019年1月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2019年1月21日